

記憶するために — わたしはだれ？
To remember — Who am I?

堀浩哉 + 堀えりぜ

2019年9月7日[土]—11月17日[日]

原爆の図 丸木美術館

Maruki Gallery For The Hiroshima Panels

埼玉県東松山市下唐子 1401 月曜休館 (祝日の場合は翌平日) 午前9時—午後5時
協力 3331 Arts Chiyoda、日本美術サウンドアーカイヴ、ミヅマアートギャラリー

元号が「令和」と改まり、翌年の東京オリンピック・パラリンピック開催と2025年の大阪万博を見据えて、この国がお祭り騒ぎによって何を覆い隠していくのか、現代美術家のユニットである「堀浩哉 + 堀えりぜ」の展覧会は、それへの批判とともに新時代を切り拓くビジョンを提示します。

「堀浩哉 + 堀えりぜ」は2011年に始動したユニットですが、両名による協働活動は1970年代半ばから続けられてきました。堀浩哉は1960年代末から半世紀に渡って美術家としての活動を続けていますが、堀の絵画以外の作品である70年代後半のパフォーマンスは堀えりぜとのコラボレーションによるものでした。そしてその後、堀浩哉が20年ほど絵画に専念したのちの1990年代末にパフォーマンスやインスタレーション作品を再開する際には、畠中実（現I.C.C.主任学芸員）を加えた「ユニット00（堀浩哉、堀えりぜ、畠中実）」として活動を始め、さらに2011年の東日本大震災と原発事故以降は「堀浩哉 + 堀えりぜ」のユニットに改めて、旺盛な表現活動を展開しています。

また堀浩哉の2015年以降の「滅びと再生の庭」と題された絵画のシリーズでは、制作の際に堀えりぜが朗読をするという形で協力をしています。

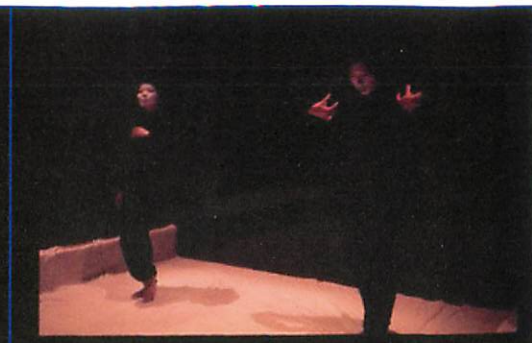
この展覧会は、「堀浩哉 + 堀えりぜ」が2011年以降に展開してきた活動の、現時点での集大成となるものです。

写真)表:2018年「わたしはだれ?」、裏:左上から時計回りに2004年「たった一人の戦争」、2015年「記憶するために」、1977年「Dancing-Affair」、2012年「奪われた時-飯館中学校」、2015年「記憶するために」、2014年「Revolution」

会期中のイベント

- 9月7日[土]14時 オープニングトーク
ゲスト 赤坂憲雄 (民俗学者)
 - 9月15日[日]14時
「堀浩哉+堀えりぜ」によるパフォーマンス+トーク
ゲスト 畠中実、金子智太郎 (美学研究者)
 - 9月28日[土]14時 トーク
ゲスト 榎木野衣 (美術評論家)
 - 10月5日[土]14時 トーク
ゲスト 千葉成夫 (美術評論家)
 - 11月9日[土]14時 トーク
ゲスト 蔵屋美香 (東京国立近代美術館企画課長)
- ※いずれも参加自由 (入館料別途)

チラシをお持ちの方は入館料が100円引きとなります



公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

- [常設展]「原爆の図」連作
「水俣の図」
「南京大虐殺の図」
「アウシュビッツの図」
「水俣・原発・三里塚」
丸木スマ水彩画等

[開館時間] 午前9時～午後5時

[休館日] 月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障碍(しょうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[URL] <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

[Eメール] marukimsn@aya.or.jp

- [交通] ●東武東上線森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
●東武東上線東松山駅より市内循環バス唐子コース(日祝運休)約15分
「丸木美術館東」下車徒歩15分
●関越自動車道
東松山インターより小川方面10分
●東武東上線つきのお駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



【市内循環バス時刻表(日祝運休)】

東松山駅東口発	丸木美術館東発
丸木美術館東行	東松山駅東口行
08:55	10:32
10:00	11:37
11:05	14:02
13:30	15:02
14:30	16:27
15:55	17:32